

4月25日

～第2回バス運転者の確保及び育成に向けた検討会～

4月25日（金）、国土交通省主催の第2回バス運転者の確保及び育成に向けた検討会が開催され、各検討委員会から人材確保に向けた議論が展開されました。私たちは各職場からの提言をまとあげて、検討会へ反映させるための提言を行いました。

【主な検討課題】

I. バス運転者の人手不足の発生原因の解消に向けて

- ①大型2種免許取得環境の改善
- ②募集・採用活動の刷新・競争力強化
- ③自社養成制度の充実や女性の本格採用に向けた勤務体系や社内インフラの見直し
- ④バス業界や運転者のイメージアップを図りながら採用活動の強化



II. 業界全体の労働条件改善に向けた取り組み

- ①労働条件改善に向けた具体的な取り組みや姿勢がバス業界に求められている
- ②バス運転者から多様な社内キャリアパス制度を導入して働きがいを高めていくこと
- ③業界活性化に向けて各企業と業界全体の取り組み強化
- ④安全運行やサービス向上への貢献に対する報奨制度の導入等

私たちの提言！

- ①女性運転手の採用については女性特有の課題や地域性の問題、安全問題を労使で議論しながら積極的に採用を進めていくべき
- ②運転手で採用された人が生涯運転手で、その道のプロを目指す人と、運転手以外に管理者の道を目指す人などの多様な選択肢を設けてバス業界の働きがいを高めていくべき
- ③度重なる事故でバス業界のイメージがダウンしている『法令を遵守しても運転手が疲れてしまう』現実を目を向けて、改善基準告示の問題等の議論を深めていきながら「安全・健康・働きがい・ぬくもり」のあるバス業界にしていくこと
- ④JRバス関東では東京観光専門学校卒業後に入社してくる社員（営業職）が働きがいを持ちながら各部署で活躍している。そのなかには営業職から運転手へ転換して頑張っている社員もいる。企業と専門学校や高校との早急なタイアップが必要



運転者の高齢化問題はJRバス関東・JRバス東北も例外ではありません。

JRバス関東の全社員平均年齢は47歳に達しています。

若い世代が希望を持って働けるバス業界を職場からの挑戦で創りだそう！！